

ほけんだより

9月

尚徳福祉会 とちょう保育園

・空気感染対策に取り組んでいます・

新型コロナウイルス第7波が猛威をふるった、猛暑の夏でした…。気が張る日々が続き、心身ともに疲れも出やすい頃です。残暑も長引く予報ですので、休息を充分とり、体調を整えていきたいですね。

日本感染症学会によると今シーズンは、インフルエンザの流行の可能性が大きく、最近2年間、インフルエンザが流行しなかったため、特に小さなお子さんでは免疫が低下していると思われ、ワクチン接種はとても重要とのことです。かかりつけ医での予約を確認しておくことをおすすめいたします。

園医の指導の下、新型コロナウイルスや今年流行が懸念されるインフルエンザウイルスなどの感染リスクを減らすため、室内の空気を循環させ、換気の見える化を図っています。そのため各保育室や職員休憩室等にCO₂モニターを、玄関とホールにサーキュレーターを設置しました。送迎の際お子さんがお手を触れないようご協力をお願いいたします。

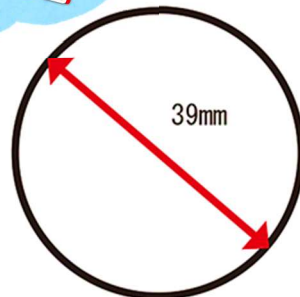


みんなの元気を
守ります！



家の中の事故を防ぎましょう

9月9日は
救急の日



家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息で、0歳児が圧倒的に多いです。1歳からは、転ぶ・落ちることでの救急搬送が5~6割を占めます。(東京消防庁救急搬送データより)

家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックをしてみましょう。

リビングなど



ソファやベッドから落ちたり、たばこや玩具を飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

小さいものはしっかり管理

子どもの口の大きさは約4cmですが、これ以下の大きさでも窒息する危険があります。また、ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など身近なもので危険なものは、手の届かない場所に保管しましょう。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきに溺れるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などに上がって手すりを超える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。

窒息した!! 救急車を
待つ間にできる処置は…

1歳未満



繰り返す

片腕にうつぶせに乗せ、手の平であごを支えながら、片手の手の平のつけ根で **背中をしっかりと5回叩く。** 次にあお向けにし、片手で体、手の平で頭をしっかりと支え、 **胸の真中を指2本で5回押す。繰り返す。**

1歳以上



振りこぶしにした手をもう片方の手でにぎる

みぞおちの下
の部分を押さえて
腹部を圧迫

背後から両腕を回し、片方の手をグーにし、みぞおちの下に当てる。もう片方の手をその上に当てて、**両手で腹部を上**に圧迫する。**これを繰り返す。**

イラスト：政府広報オンラインより

今月の
保健行事

身体測定

0歳児健診